



## 平成26年度女性研究者支援コンソーシアムあきた男女共同参画推進シンポジウム 「自らが選択するワーク・ライフ・バランスー理想と現実ー」を開催しました

平成26年11月28日（金）13時30分よりホテルメトロポリタン秋田において「平成26年度女性研究者支援コンソーシアムあきた男女共同参画推進シンポジウム」を開催しました。

第1部は、文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課より女性政策調整官の市川妙子氏を講師に迎え、「高等教育における男女共同参画の推進について」と題して、政府における女性活躍支援の動きや国・高等教育分野における男女共同参画の現状についての報告、文部科学省の支援施策について様々なデータをもとに、お話しいただきました。

第2部では、今年度より創設された「女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」の第1回表彰式を行い、研究・仕事と育児を両立しながら優れた成果を挙げた2名の女性研究者が表彰され、授賞者講演を行いました。

その後、「自らが選択するワーク・ライフ・バランスー理想と現実ー」と題して、本学大学院工学資源学研究科 奥山栄樹准教授、秋田県立大学生物資源科学部 佐藤奈美子准教授、秋田県農業試験場原種生産部 北川悦子部長をパネリストに、本学学長補佐で男女共同参画推進室長の渡部育子のコーディネートで、パネルディスカッションを実施し、研究者のワーク・ライフ・バランスの在り方について、研究者のおかれている現実と理想、今後の支援として望むことについて討議しました。

「職場の上司が制度について紹介することで、制度を利用する側のプレッシャーを外すきっかけになるのではないか」「育児や介護で研究活動のペースが一時的に落ちてても、長期的に見守ることで結果を出せるということもあるのではないか」等、活発な意見交換が行われました。



### 女性研究者支援コンソーシアムあきた賞 授賞者

#### 【若手研究者部門】

- ・秋田県立大学生物資源科学部 助教 井上 みずき 氏  
研究テーマ

「有性繁殖とクローン繁殖に着目した

クローナル植物の生活史戦略の解明」



#### 【ワーク・ライフ・バランス部門】

- ・秋田大学大学院工学資源学研究科 講師 石沢 千佳子 氏  
研究テーマ

「情報漏洩の防止を目的とした

残留ファイルの検出に関する研究」



## 女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会を開催しました



平成26年11月10日（月）14時30分より本学理工学部第1会議室において「女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会」を開催しました。

当日は、秋田県産業技術センター研究員の野辺理恵氏を講師に迎え、「秋田で研究者として働く」と題して、産業技術センターに入所されるまでの経緯や研究生活についての紹介のほか、野辺氏が現在研究されている「超臨界発泡射出成形法による軽量化と高強度化」の研究内容などについてお話しいただきました。

終了後のアンケートでは「今後の進路の参考になる話を聞いたのですごく良かった」「多くの経験を紹介して頂き研究者としても楽しめた」という感想が寄せられました。

また、講演後に行った交流会では、気軽な雰囲気の中留学生や学外からの参加者が質問や相談をする様子も見られ、参加者同士親睦を深めていました。



## サイエンスセミナー2014を開催しました

平成27年1月9日（金）14時より、本学医学部基礎講義棟2階 第二講義室にて、「サイエンスセミナー2014」を開催しました。

本セミナーは、女性大学院生、学部生、若手研究者を対象に、企業における最先端の研究について学ぶことで今後の研究力向上や研究へのモチベーションを高めることを目的に実施しました。

当日は、株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所 所長の服部俊治氏を講師に迎え「細胞外マトリックスタンパク質の機能と利用法」と題し、ニッピの企業紹介や細胞外マトリックスの主役となるコラーゲンとゼラチンの違いやその性質についてなど、実験を交えながら講演していただきました。

また、コラーゲンの医療分野（再生医療等）への応用のお話もあり、受講者の興味を深めました。

終了後のアンケートでは、「説明だけでなく実験も交えていただき、非常に有意義な時間を過ごしました。」「実験でコラーゲンの線維形成を見ることができて面白かった。コラーゲンを使った研究は化粧品だけでなく、医療、特に再生医療にも応用されると知って驚いた。」などの感想が寄せられました。



## 平成26年度秋田大学男女共同参画推進フォーラムを開催



平成26年12月8日（月）14時より秋田大学60周年記念ホールにおいて、「平成26年度秋田大学男女共同参画推進フォーラム」を開催しました。

当日は、株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所 課長の藤崎ひとみ氏を講師に迎え、「企業と基礎研究とワークライフバランス」と題し講演をしていただきました。



藤崎氏はニッピに入社されてから20年以上にわたり、コラーゲンをはじめとした細胞外マトリックスについて研究をされており、ご自身の研究内容や企業でのワーク・ライフ・バランス推進の取り組みについてお話しいただきました。

終了後のアンケートでは、「大学等以外の企業の取り組み、現状が興味深かった。」などの感想があった反面「男女共同参画について男性の方の考えを聞いてみたい。」との意見も寄せられました。

## 「平成26年度秋田大学介護支援セミナー —それぞれの介護のかたち—」を開催しました

平成27年2月9日（月）13時より本学医学部保健学科棟大講義室において「平成26年度秋田大学介護支援セミナー —それぞれの介護のかたち—」を開催しました。

当日は、本学医学系研究科保健学専攻地域・老年看護学講座教授の中村順子氏を講師に「家族介護における留意点」と題して家族介護の在り方、地域包括ケアシステムについての講演がありました。

また、学外より家族介護の経験を持つ渡邊まどか氏をゲストスピーカーに迎え、介護と仕事との両立をテーマに対談を行いました。対談では、渡邊氏が家族の介護中に苦労された経験や、今は介護が必要な状態でなくても、家族と介護について話し合う機会を設けることの必要性についてお話しいただきました。

終了後のアンケートでは、「家族介護の在り方についての先入観がなくなり、介護サービスの利用についても勉強になった」「貴重な介護の経験談を聞き、参考になった」等の感想が寄せられました。



# 「女性研究者のためのスキルアップセミナー2015 ～論文採用率を高める科学英語論文執筆セミナー～」を開催しました

平成27年2月18日（水）16時より、本学医学系研究棟2階 総1講において、「女性研究者のためのスキルアップセミナー2015～論文採用率を高める科学英語論文執筆セミナー～」を開催しました。



当日は、英語論文校正事業を展開し、飛躍的にその採択率を高めることで定評のあるエダズ・グループ・ジャパンに依頼し、第1部では科学英語論文の効果的な執筆について、第2部では執筆スキルと論文構成について、第3部では学術出版と出版倫理についての3部構成・全編英語によるセミナーを実施しました。

講義の間には、グループワークが行われ、参加者はお互いに意見を出し合いながら、課題に取り組んでいました。また、積極的に英語で講師と会話する姿も見られました。

セミナー終了後のアンケートでは、「とてもわかりやすく勉強になった」といった声が多く聞かれました。

## 第4回秋田大学優秀女性研究者表彰が行われました

平成26年11月20日（木）第4回秋田大学優秀女性研究者表彰が行われ、今年度は2名の女性研究者が表彰されました。

### 【授賞者】

- ・教育文化学部人間文化講座 講師 羽田 朝子 氏
- ・医学部附属病院精神科 助教 筒井 幸 氏

羽田先生は、本学赴任以前から中国文学についてご研究されており、本学赴任後も学会での発表や論文の出版等ご活躍されております。特に論文は、中国本国の文学関係で権威ある出版社から公刊された論集に収められており、優れた成果を挙げていることが評価されています。

筒井先生は、精神疾患症例の集積や細胞を用いた実験をしながら自己免疫性脳炎についてご研究をされております。筒井先生の取り組まれている研究は、日本精神神経学会や日本総合病院精神医学会で優れた研究として評価されています。

お二人の先生には、若手女性研究者及び研究者を目指す女性にとってのロールモデルとして、ますますのご活躍を期待します！



お二人の先生のご紹介とインタビューは、ココロホームページにも掲載しております。ぜひご覧ください。



表彰記念撮影（前列右より筒井助教、羽田講師）

